

各地域の秋のほぎわい

上町収穫祭

日時 11月3日(日)
会場 上町開発センター
菊花・生花・絵画・写真・手芸作品・SLばんえつ物語号による旅の写真展示。豚汁・わたあめ・ポップコーン等。稲刈り体験で収穫し、はさかけによるコシヒカリで作ったおにぎりのサービス、餅つきもあります。カニやのぎく石けんの販売。



木津文化芸能祭

日時 11月17日(日)
会場 農業構造改善センター
書道、菊花、盆栽、手芸、陶芸、写真、パズルなどの展示。民謡や大正琴、カラオケなどを披露。お茶会、もちつき、白菜や大根などの農作物の展示即売、フリーマーケットなど。



二本木地域文化祭

日時 11月3日(日)
会場 二本木地区コミュニティセンター
キャンプや運動会の写真、お茶会、仏像彫刻美術展、絵画、水墨画、俳句、生け花など展示。農産物の展示と販売、テレビゲームコーナーなど。



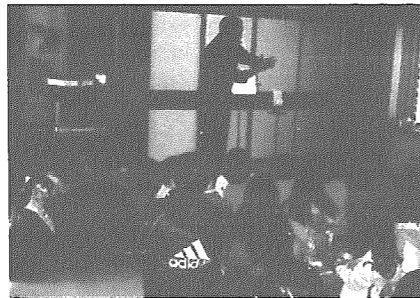
小杉文化芸能祭

日時 11月3日(日)
会場 小杉地区コミュニティセンター
書道等の作品展示に加え、今年も保育園児から年配の方まで、歌や踊り、劇と手作りの芸能祭に参加。約300名が観覧。歌手による歌謡ショーやプロによる陶芸作品展示も。



藤山駒込 うぐいすマジックショー

日時 11月9日(土)
会場 藤山会館
目の前で次から次へと繰り広げられる不思議な世界に、子どもたちはもちろんのこと、大人たちまで驚きの連続で、とても楽しい時間を過ごした。



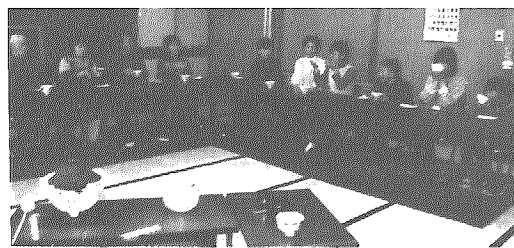
新田地域文化祭

日時 11月10日(日)
会場 新田コミュニティセンター
地域の皆様の趣味や特技を活かした作品展示、健康推進委員会からの給菜・もちつき大会・バザーに無料の鮭汁のサービス。



沢海文化祭

日時 11月17日(日)
会場 農村環境改善センター
園児や児童の作品・陶芸・手芸・写真・表装等の作品展示・パソコンによる子どもセンターの活動紹介。フリーマーケット・バザー・お茶会・ペットボトルボーリング・豚汁サービス。



県展2年連続入選の快挙 書道を楽しむ横山直子さん

横山直子さん(中央2丁目)が、今年の第57回新潟県展書道部門において入選し、2年連続入選という快挙を成し遂げました。

今回の入選作品は、題名「山の春」、行書体の漢字かな交じり書で、「春になると用水路に枯れ草をのせた春の水が流れ耕運機の音が鳴り始めると水をのった田にはつじの花が咲いた山が映り私達に美しい風景を見せてくれる」と書かれたもの。「言葉遊びで作品の半分は決まります」との思いから、

出展作品は、誰が読んでも内容のわかる言葉遊びをじっくり選び、誰もが読める字で書くよう心がけているそうです。



これまで書道を通じて含め周りの人の存在が大きいという横山さんは、「書道を通じていろんな人と出会えたこと、そうした友人たちは財産です。まだまだたくさんのお出合いがあるかと思うとこれからも楽しみです」と書道への思いを語っていました。

今年で9回目となる県展入選について、「他の展覧会にも出品しているが、県展で評価されるのが一番うれしい。また励みにもなり、更に努力していこうという気持ちになります」と感想を語りました。

横山さんは、中学校で書道部に在籍し、以来ずっと書道に親しんできました。途中子育てや仕事で忙しく時間の取れない時期もあったそうですが、家族の理解もあり、できるだけ筆を手にするようにはしていたそうです。5年前に退職してからは、大好きな書道に没頭できる時間が増え、以前にも増して書道の楽しさを感じているとのこと。

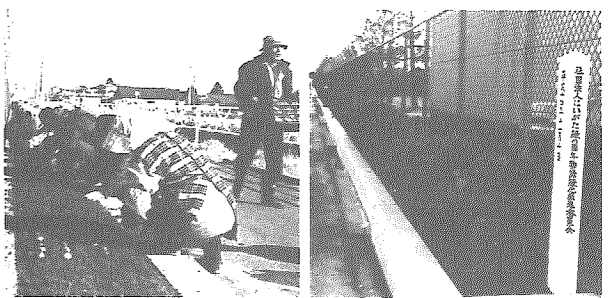
緑豊かなうるおいのあるまちづくり 各地で緑化活動

新潟都市圏の中でも自然が多いといわれる横越町ですが、もつと植物を植えて環境も心も豊かにしたいと、住民の皆さんが緑化活動を進めています。

上町で進む植樹活動

横越上町自治会では、通学する子どもたちや地域の人たちに喜んでもらうと、これまで花だん整備を行ってきました。このほど、2つの助成によりますます緑化活動を進めています。

にいがた緑の百年物語緑化推進委員会の助成により「シンボル並木造成事業」が浄水場裏の「あいさつ通り」で行われ、カントツバキ60本、オオムラサキツツジ55本、ニワフジ100本、また、「緑の募金」の助成により、あいさつ通りにサザンカ29本、浄水場近くのさつき公園に

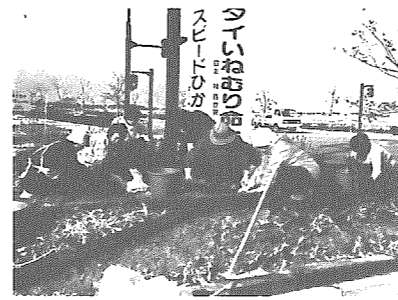


上町での球根植え

シンボル並木造成事業

総合体育館隣りに植樹

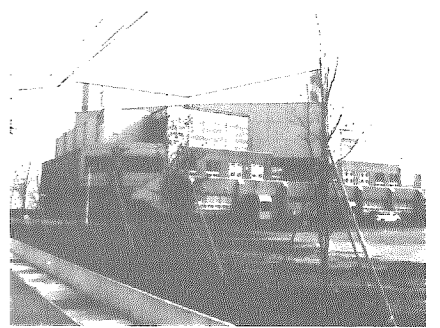
木津地域公民館では、これまで地域でコブシ並木やアジサイの管理など様々な緑化活動を行ってきました。11月上旬、総合体育館隣りのゲートボール場に緑が少ないことから、ヤマボウシ15本を植樹しました。



保健センターわきの花だん整備

花いっぱい運動

阿賀の里づくりよこしこの呼びかけにより、花でいっぱい美しい町づくりに取り組もうと、チューリップとスイセンなどの球根が60余りの個人や団体に配られました。また、11月20日、有志15人により、保健センターの一角の花だんでも、チューリップの球根、パンジーや葉ポタンの苗などが植えられました。



植樹されたヤマボウシ